

平成25年度事業実績報告

● 基本方針

昨年の総会方針に基づき、新公益法人制度移行に向けて定款の変更、諸規約等を整備し公益社団法人の認定申請を行った結果、引き続き脆弱な自己財源の課題が残されてはいるが、移行への認定を得ることができた。

また、助成事業等の改善策や再発防止、協会運営の健全強化をより一層充実させるため、確固たる組織づくりの正念場の年として取組を行うと同時にアイヌ民族としての自覚と誇りを堅持し、社会的責任を全うするため各個人、支部及び本部相互の連携強化につとめた。

国と道が進める「アイヌの人たちの生活向上に関する推進方策」及びアイヌ文化財団の行う各種事業の執行や内容充実を図るため、各関係機関との連携を保ちながら、長期的な視点に立った政策検討や事業実施について働きかけた。

また、国が取り進める「民族共生の象徴となる空間」基本構想についても、その内容がより充実したものになるよう積極的に働きかけを行った。

「先住民族の権利に関する国際連合宣言（以下、国連宣言）」に照らし、「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会（以下、有識者懇談会）」報告書の実現を優先にあらゆる機会を捉え「アイヌ文化振興法」制定時に残された課題を始めアイヌ民族の積年の願いである立法措置に基づく総合的施策の確立に向けた取組みを促進した。

4つの柱と10の項目

〈4つの柱〉

- 1 公益法人制度移行に伴う組織強化
- 2 「有識者懇談会」報告書と「国連宣言」に基づく新しい「アイヌ政策」（立法措置）の実現
- 3 「アイヌ文化振興法」の積極かつ適切な活用と啓発活動
- 4 「アイヌの人たちの生活向上に関する推進方策」の見直し

〈10の項目〉

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 組織強化対策の推進 | 2 青年・女性対策の推進 |
| 3 広報・啓発活動の推進 | 4 先住民族の理解の推進 |
| 5 民族文化対策の推進 | 6 生活・教育対策の推進 |
| 7 農林漁業対策の推進 | 8 中小企業対策の推進 |
| 9 職業安定対策の推進 | 10 住宅対策の推進 |

● 具体的事業計画

○ 4つの柱の取り組み

◇ 公益法人制度移行に伴う組織強化

「国連宣言」及び「有識者懇談会」報告書の実現に向けた「アイヌ政策推進会議・政策推進作業部会」の動向などの理解促進を組織活動強化事業での研修や情報収集、各種事業実施などを通して進め、青少年、女性の参加を得ながら、アイヌ自らの意識を高めつつ協会の組織強化につとめた。

公益法人制度移行の最終年度にあたり、協会組織のあり方等検討委員会・理事会での協議結果を踏まえ、事業執行の見直し、会計監理の向上など、体制強化による指導徹底を進めつつ、公益社団法人移行申請を行った。

さらに、法人移行に関して要請のあった支部等に出向いて、協会組織の体制や運営について説明し、情報共有を図った。

◇ 「有識者懇談会」報告書と「国連宣言」に基づく新しい「アイヌ政策」の実現

アイヌ民族のあらゆる地位の向上が確保されるよう、「有識者懇談会」報告書の実現を最優先に着実に国内での政策整備の歩みを進めた。

具体的には、「アイヌ政策推進会議」の下の、「民族共生の象徴となる空間」作業部会と「北海道外アイヌの生活実態調査」作業部会の両報告書の早期実現、「国連宣言」を参照しつつ、これまでのアイヌ民族に関する法律制定運動で残された課題や要望を含めた新しい「アイヌ政策のあり方」を見定め、立法措置を含めた内容を要請した。

◇ 「アイヌ文化振興法」の積極的かつ適切な活用と啓発活動

「アイヌ文化振興法」の活用を進め、その制定趣旨にそって事業の内容が充実するよう、引き続きアイヌ文化財団に対し積極的な提言を行うとともに、事業指導等での密接な連携につとめた。

◇ 「アイヌの人たちの生活向上に関する推進方策」の見直し

昨年実施された「北海道アイヌ生活実態調査」に全面的に協力するよう各支部に要請した。

また、北海道の「アイヌ政策を考える懇話会」の開催機会等に協会意向を提言、要望するなどし、「アイヌ施策推進会議」の審議に反映させながら、次年度以降の同推進方策の拡充を求めた。

1 組織強化対策の推進

1 要請活動等の展開

アイヌ文化振興法の制定趣旨に基づき、アイヌ文化財団の各種事業展開と密接な連携・協力関係を築きながら、効果的な助成事業の実施に取り組んだ。

先住民族としての法的位置づけを明確なものとする活動や訴えについては、超党派議員連盟『アイヌ政策を推進する議員の会（代表世話人今津寛衆議院議員）以下、「国会議員連盟」』をはじめとした国政や関係行政機関、マスコミなどに対し引き続き働きかけた。

一方、「国連宣言」や「人種差別撤廃条約」の内容についての国内理解を進めるとともに、先住民族関連の国際会議などの情報を入手し、我が国における先住民族の認知がより一層定着する活動を続けた。

また、北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの協働による啓発・研修活動等を進めるとともに人権啓発活動等に取組む（公財）人権教育啓発推進センター、反差別国際運動や市民外交センターとの情報交換、連携などを進めた。

(1) 「アイヌ文化振興法」の施策活用

アイヌ文化の伝承・保存活動への取組みを推進するため、各支部はもとより、各古式舞踊保存会などで会員一人ひとりがこの施策を有効に活用できるよう、事業の周知と実施方法について助言、助力を行った。

一方、アイヌ文化財団助成事業の再発防止改善策に加え、協会各支部の助成申請手続きの透明化や役員はじめ協会関係者間の協力による適正な事業実施が行われるよう、組織内部の倫理高揚、牽制体制の整備強化に取り組んだ。

「アイヌ文化振興法」施行後16年程が経過し、アイヌ文化財団の各種助成事業の活用も定着しつつあるが、よりアイヌ民族のためになる事業展開に向けての検討や改善、拡充を求めた。

(2) 政府並びに各政党に対する働きかけ

加藤理事長はじめ協会役員が政府並びに各政党に対してアイヌ施策の推進について働きかけを行った。

①国会議員等への要請等

- ・平成25年 6月19日(水) 「アイヌ政策を推進する議員の会」総会
- ・平成25年10月15日(火) 橋本聖子参議院議員
- ・平成25年10月25日(金) 「アイヌ政策を推進する議員の会」総会

②関係省庁への要請

- ・平成25年4月 国土交通大臣 太田昭宏
- 7月 文部科学省
- ・平成25年10月15日 菅 内閣官房長官

③アイヌ政策推進会議等への出席

◇アイヌ政策推進会議

第5回 平成25年9月11日(水) 北海道庁赤れんが庁舎

(1) 「政策推進作業部会」の検討状況の報告について

- ・アイヌ遺骨の返還・集約に係る基本的な考え方について
- ・「民族共生の象徴となる空間」における文化伝承等の活動について
- ・「北海道外アイヌの生活実態調査」を踏まえた、全国的見地からの施策の進捗状況について

- (2) 「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」の報告で提言された政策等の推進状況及び今後の展開方向
 - ・ 「民族共生の象徴となる空間」の整備に向けたロードマップ
 - ・ 「民族共生の象徴となる空間」における博物館の基本構想
- (3) 意見交換

◇政策推進作業部会

第11回 平成25年4月19日（金）

- (1) 大学等に保管されているアイヌ人骨について
- (2) 「民族共生の象徴となる空間」にかかる検討状況等について
- (3) 政策の対象者の認定について

第12回 平成25年6月14日（金）

- (1) アイヌの遺骨について
- (2) 「民族共生の象徴となる空間」における文化伝承等の活動について
- (3) 「北海道外アイヌの生活実態調査」を踏まえた全国的見地からの施策の進捗状況について
- (4) アイヌ子弟の幼児期からの教育支援について

第13回 平成26年1月31日（金）

- (1) 「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営の基本方針について
- (2) 平成26年度アイヌ政策関係政府予算案の状況等について
- (3) アイヌ政策に関する世論調査の結果について

第14回 平成26年2月28日（金）

- (1) 「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営の基本方針について
- (2) 「北海道外アイヌの生活実態調査」を踏まえた全国的見地からの施策の進捗状況について

第15回 平成26年3月27日（木）

- (1) 「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営の基本方針について
- (2) その他

④アイヌの伝統的生活空間の再生事業運営諮問委員会

・ 第15回 平成25年8月30日（金）

- (1) 委員長の互選について
- (2) 平成24年度アイヌの伝統的生活空間の再生事業に関する検証・評価について
- (3) アイヌの伝統的生活空間の再生に関する事業実施計画（平成25年度）（案）について
- (4) その他

⑤「民族共生の象徴となる空間」における博物館の整備・運営に関する調査検討委員会
＜文化庁関係＞

・ 第7回 平成25年5月30日（木）

- (1) 博物館の組織・運営のあり方について
- (2) その他

・ 第8回 平成25年7月9日（火）

- (1) 博物館以外の機能の進捗状況について（報告）
- (2) 博物館の基本構想（案）について
- (3) その他

- ・ 第9回 平成25年8月22日（木）
 - (1) 博物館の基本構想(最終案)について
 - (2) 専門部会の設置について
 - (3) その他

- ・ 平成25年11月1日（金）アイヌ民族博物館視察

(3) 北海道並びに北海道議会に対する働きかけ

加藤理事長はじめ協会役員が知事並びに北海道議会に対してアイヌ施策の推進について働きかけを行った。

①北海道アイヌ政策を考える懇談会

- ・ 平成25年12月24日

(4) 人権に係わる機関・組織等に対する働きかけ

法務省の啓発事業「アイヌの人々の人権擁護の観点からの啓発」への協力、「人種差別撤廃条約」並びに「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」の趣旨を踏まえ、(公財)人権教育啓発推進センターなどとの連携により人権教育の推進に努めるとともに、「アイヌ文化振興財団」のイランカラプテキャンペーンなどの啓発事業の充実や道が作成したアイヌの人権啓発DVDの活用などにより、人権思想の普及・啓発に取り組んだ。

(5) 自主的啓発活動の推進

広報紙、冊子、チラシ、道の啓発誌、DVDなどをとおして、平時継続的な周知を図った。

(6) ホームページの充実

ホームページを通して、「先住民族アイヌの法制史概要」資料掲載に引き続き、アイヌ民族関連の情報の発信に努めた。また、民芸品「パンフレット」を協会HPに掲載した。

(URL : <http://www.ainu-assn.or.jp>)

(7) 「アイヌ文化交流センター」の運営への協力

全国に向けたアイヌ文化の発信拠点として、東京都に設置されている「アイヌ文化交流センター」との連携を図り、事業運営等に協力して取り組んだ。

(8) 道外在住アイヌに対する施策実現への働きかけ

関東域の関係団体・個人と連絡を密にして情報共有し、協力体制のあり方などについて、意見交換につとめた。

(9) 北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの事業連携

平成18年度「北大アイヌ生活実態調査」の実績は、「有識者懇談会」の報告書や人種差別撤廃委員会のアイヌの人権状況審査などで活用されてきた。この実績を踏まえ、今年度実施の道の「北海道アイヌ生活実態調査」の調査項目や手法、分析などについても有益な助言を求めた。

また、同センター実施事業への協力として、伊達支部会員からの聞き取り調査を行うとともに、民芸品関連等、当協会事業に対するセンター教員等の支援協力を求めた。

2 組織の強化

(1) 支部、地区支部連合会の組織体制の強化

地区支部連合会や支部の位置づけ等が、法人法や認定法に規定される公益法人法の移行に伴う定款変更により、一定の制約を受けることから、組織の意思統一、連携・伝達を強化するため「アイヌ協会支部組織活動強化事業」を有効に活用し、青少年の育成、各種研修、交流事業等の開催、会員個人々の意識の向上と組織連携や強化を図った。

平成25年度北海道アイヌ協会支部活動強化事業一覧 No.1

支部名・事業名・事業内容
<p>事業名：日高東部四支部合同青少年育成事業</p> <p>目的：日高東部四支部では、年々会員数が減少し、世代交代がうまく行われず高齢化傾向にある。そのため民族文化の伝承者及び協会活動の担い手を育成していくことが急務である。 これまであまり支部活動に参加してこなかった若い人たちを発掘し、民族文化伝承及び協会活動の担い手を育成する。</p> <p>時期：平成25年8月12日～13日</p> <p>場所：札幌大学／社団法人北海道アイヌ協会</p> <p>内容：<1日目> 1. 札幌大学ウレシパチューデントの案内で、キャンパス見学 2. 本田優子副学長の講演 3. ウレシパチューデントの指導による研修会 <2日目> 1. アイヌ協会事務所訪問、川上竜也事務局員の講話</p> <p>参加者：日高東部4支部役員、会員及び会員子弟 22名</p> <p>事業実施の効果及び特記事項： 札幌大学の奨学生制度「ウレシパプロジェクト」について、学生や保護者、4支部幹部の理解が促進した。アイヌ民族をめぐる諸問題の一端を垣間見ることができ、アイヌ民族への関心を持つことができた。 それまであまり交流することができなかつたアイヌ子弟と話をすることができ、組織強化を図ることができた。</p> <p>助成額：467,000円</p>

支部名・事業名・事業内容
<p>事業名：帯広支部活動研修事業</p> <p>目的：十勝圏イオル再生事業も現実味を帯びてきているところであるが、支部としての取組や来年度公益法人に移行について本部副理事長、札幌支部長よりレクチャーしていただき帯広支部の活性化を目指す。 また、積極的にアイヌ学習を取り組んでいる千歳末広小学校にて教頭先生より説明をしていただく。</p> <p>時期：平成25年9月22日～23日</p> <p>場所：札幌市アイヌ文化交流センターピリカコタン／千歳市立末広小学校</p> <p>内容：＜1日目＞ 1. 小金湯ピリカコタン施設見学 2. 阿部副理事長の講話 ＜2日目＞ 1. 千歳市立末広小学校訪問、アイヌ学習の取組及びチセの見学</p> <p>参加者：帯広支部会員 15名</p> <p>事業実施の効果及び特記事項： ピリカコタンにて阿部副理事長の講話を聞き、協会の取組や公益法人移行について詳しくレクチャーしていただき、今後の支部活動に反映でき、展示物では札幌と帯広の違いを学びました。 また、千歳市立末広小学校のアイヌ学習では、各学年が年間13～14時間の授業があり、6年間で100時間程にもなる。生徒がアイヌのことを理解していることを聞き帯広においても幼児期よりアイヌ文化を取り組むよう働きかけることができる。</p> <p>助成額：379,000円</p>

支部名・事業名・事業内容
<p>事業名：長万部支部活動研修事業</p> <p>目的：長万部町は、シャクシャインの戦いにおいて、松前軍との決戦の場であり、このことは郷土史にも必ず記述される。このように何かと縁があるシャクシャインについて、その本拠地であった新ひだか町で、民族の存亡に命を賭したシャクシャインの戦いの意義などを学び、さらには新ひだか支部との交流により当支部の更なる活性化を図る。</p> <p>時期：平成25年9月22日～23日</p> <p>場所：新ひだか町：シャクシャイン記念館／白老町：チキサニ事務所・アイヌ民族博物館</p> <p>内容：<1日目></p> <ol style="list-style-type: none">1. 新ひだか支部長の講話「シャクシャインの戦いの意義などについて」2. 新ひだか支部事務局からシャクシャイン記念館及びシャクシャイン法要祭の運営等についての説明3. 会員同士の意見交換 <p><2日目></p> <ol style="list-style-type: none">1. 白老チキサニ事務所でイオル事業の研修2. アイヌ民族博物館見学研修 <p>参加者：長万部支部会員及び家族 11名</p> <p>事業実施の効果及び特記事項：</p> <ul style="list-style-type: none">・ シャクシャインの戦いの意義などについて再確認し、今後若い世代へと受け継ぐ活動を行いたい。・ 他支部との意見交換により連携強化が図られた。・ アイヌ史や他支部の活動に学ぶことにより、アイヌ民族としての自覚を高めることができた。 <p>助成額：300,000円</p>

支部名・事業名・事業内容

事業名：阿寒支部活動研修事業

目的： 当支部には常勤事務職員がいないため、事務局体制が構築されていない。当支部としては本部や行政と連携し支部活動を行っている札幌支部の事務局と協会本部の業務説明や事務所の視察により、当支部の事務局体制の強化を図る。

時期：平成25年12月4日～5日

場所：札幌ピリカコタン／アイヌ協会本部事務局

内容：＜1日目＞

1. 札幌ピリカコタン視察
2. 札幌支部長の講演「イオル再生事業及び青年女性の活動状況について」
3. 札幌支部事務局講演「行政との連携と事務局強化について」

＜2日目＞

1. アイヌ協会本部事務局視察
2. 本部事務局長講演「行政との連携と事務局強化について」

参加者：阿寒支部会員及び家族 15名

事業実施の効果及び特記事項：

- ・事務局体制が構築され、支部活動の強化と活性化が図られる。

助成額：375,000円

支部名・事業名・事業内容

事業名：北海道史・江別史学習会

目的： 昨今の日本政府の先住民族政策は混沌としており、当事者であるアイヌ民族の考えや希望する方向に向かっているのか。また「民族共生の象徴となる空間」についても、その構想内容が十分に理解されているのだろうか。

こうした内容について学習する機会を設け、その権利を守り補償するためにしっかりと協会員として自覚を高める。アイヌ民族として主権と帰属意識を高め。古来のアイヌ民族の日常的な生活や精神文化を多様な経験と研究から学ぶ。

時期／内容／場所

第1回目 平成26年10月26日(土)14:00～17:00 江別市コミュニティセンター

・講師 大須賀るえ子(白老町)

・演題 「ユカラを通じたアイヌ民族の世界観と精神文化」

第2回目 平成26年12月 8日(日)14:00～16:00 江別市総合社会福祉センター

・講師 植木哲也(苫小牧駒澤大学教授)

・演題 「北大人骨問題・裁判を考える」

参加者：江別支部会員、家族延べ 14名、一般市民100人

事業実施の効果及び特記事項：

江別市民は、アイヌに関することは一般に樺太アイヌの強制移住問題が多く語られる。しかし、江別には明治以前にもアイヌ民族は営々と居住して生活していたという事実を確認した。

一般市民向けに公開講演会としたことから、会員外に市民の参加もあり、アイヌ民族の現状と歴史の理解にも大きく貢献できた。

助成額：54,000円

(2) 支部及び地区支部連合会事業への参加

各支部及び地区支部連合会事業等に役員等が出席し、当面する諸問題解決のための打開策と組織強化の指導助言を行った。

※各支部からの通知をもとに作成

期 日	行 事 名	出席役・職員
平成25年2月17日(土)	八雲支部総会	加藤理事長、竹内次長
平成25年3月16日(土)	長万部支部総会	
平成25年3月31日(日)	帯広支部総会	
平成25年3月31日(日)	芽室支部総会	
平成25年3月31日(日)	根室支部総会	
平成25年4月5日(金)	標津支部総会	
平成25年4月7日(日)	洞爺湖支部総会	
平成25年4月7日(日)	根室地区支部連合会総会	
平成25年4月7日(日)	新冠支部役員会／総会	佐藤主任
平成25年4月13日(土)	旭川支部総会／支部指導	竹内局長
平成25年4月14日(日)	上川支部総会／支部指導	竹内局長
平成25年4月14日(日)	浦幌支部総会	
平成25年4月14日(日)	様似支部総会／支部指導	
平成25年4月14日(日)	三石支部総会	
平成25年4月16日(火)	平取支部役員会／公益法人移行説明	佐藤主任
平成25年4月17日(水)	弟子屈支部総会	
平成25年4月17日(水)	上士幌支部総会	
平成25年4月19日(金)	厚真支部総会	
平成25年4月20日(土)	伊達支部総会	
平成25年4月21日(日)	むかわ支部総会	
平成25年4月21日(日)	千歳支部総会／法人移行説明指導	佐藤主任
平成25年4月21日(日)	平取支部総会	
平成25年4月21日(日)	白糠支部総会／支部指導	豊岡副理事長
平成25年4月21日(日)	阿寒支部総会	
平成25年4月21日(日)	札幌支部総会	
平成25年4月21日(日)	室蘭支部総会	
平成25年4月21日(日)	苫小牧支部総会	
平成25年4月21日(日)	新ひだか支部総会／支部指導	竹内局長

期 日	行 事 名	出席者
平成25年4月21日(日)	えりも支部総会	
平成25年4月21日(日)	浦河支部総会	
平成25年4月27日(土)	釧路支部総会／支部指導	豊岡副理事長、竹内局長、佐藤主任
平成25年4月27日(土)	登別支部総会	
平成25年4月28日(日)	白老支部総会	
平成25年5月5日(日)	日高地区支部連合会総会	
平成25年5月10日(金)	中標津支部総会	
平成25年5月12日(日)	江別支部総会	
平成25年5月12日(土)	新ひだか支部 シベチャリ松浦武四郎まつり	
平成25年5月13日(月)	西胆振地区法人移行説明会	竹内局長
平成25年5月19日(日)	十勝地区支部連合会総会	
平成25年5月26日(日)	松前シャクシャイン耳塚供養祭	竹内局長
平成25年5月26日(日)	幕別支部総会	
平成25年5月30日(日)	様似支部イチャルパ	
平成25年6月2日(日)	新ひだか支部イチャルパ	
平成25年6月2日(日)	網走支部総会	
平成25年6月14日(金)	豊浦支部総会	
平成25年6月16日(日)	標津イチャルパ	
平成25年6月30日(日)	音別物故者イチャルパ	豊岡副理事長
平成25年7月7日(日)	長万部支部先祖供養祭	加藤理事長
平成25年7月21日(日)	苫小牧支部丸木舟川下り	
平成25年7月21日(日)	網走支部 チパシリアイヌイチャルパ	
平成25年7月25日(木)	豊浦支部カムイノミ・イチャルパ	
平成25年8月4日(日)	白糠支部ふるさと祭(先祖供養祭)	
平成25年8月4日(日)	帯広支部 ウタリ共同納骨堂慰霊祭	
平成25年8月10日(土)	白老支部 白老アイヌ碑先祖供養祭	
平成25年8月13日(火)	八雲支部ウタリ先駆者鎮魂之碑慰霊	加藤理事長
平成25年8月24日. 25日	釧路支部 コタン祭り	豊岡副理事長
平成25年8月25日(日)	むかわ支部「碑前祭 カイノミ・イチャルパ」	
平成25年9月1日(日)	千歳支部アシリチェプノミ	
平成25年9月1日(日)	浦河支部イチャルパ	

期 日	行 事 名	出席者
平成25年9月1日(日)	帯広支部 チョマトー慰霊祭	
平成25年9月1日(日)	上士幌支部 マレック漁	
平成25年9月1日(日)	フンベ祭り(白糠支部)	
平成25年9月8日(日)	釧路支部カムイチェップ祭	豊岡副理事長
平成25年9月10日(火)	別海支部総会	
平成25年9月15日(日)	幕別共同墓地慰霊祭	
平成25年9月18日(水)	新冠支部無縁納骨堂におけるイチャルパ	
平成25年9月22日(日)	千歳支部カムイチェップノミ	
平成25年9月21～22日	根室支部ノッカマップイチャルパ	
平成25年9月29日(日)	網走支部カムイチェップ祭	
平成25年10月6日(日)	厚真町におけるカムイノミ・イチャルパ	加藤理事長
平成25年10月6日(日)	三石支部イチャルパ	
平成25年10月9日(土)	恵庭支部総会	川上主任
平成25年10月27日(日)	浦河支部パセオンカムイ カムイノミ	
平成25年11月3日(日)	白糠支部しししゃも祭	
平成25年11月9日(土)	阿寒支部臨時総会	竹内局長
平成25年11月17日(日)	浦河支部敬老会	
平成25年12月20日(金)	恵庭支部指導及び恵庭市教育委員会への要請	豊岡副理事長、佐藤主任
平成26年1月12日(日)	千歳支部アシリパノミ	
平成26年1月14日(火)	上川支部臨時総会、支部指導	竹内局長
平成26年1月19日(日)	苫小牧支部 アシリパカムイノミ・イチャルパ	
平成26年1月19日(日)	弟子屈支部臨時総会、支部指導	竹内局長
平成26年1月29日(水)	旭川支部指導	竹内局長
平成26年2月10日(水)	平取支部三役会・役員会／法人移行説明、他	竹内局長、佐藤主任
平成26年2月14日(金)	釧路支部臨時総会、支部指導	豊岡副理事長、竹内局長
平成26年2月16日(日)	平取支部シシリムカアイヌ文化祭	
平成26年2月20日(木)	紋別支部指導／法人移行説明	豊岡副理事長、竹内局長
平成26年2月22日(土)	八雲支部総会／法人移行説明	貝澤次長
平成26年2月23日(日)	むかわ支部臨時総会、支部指導	佐藤主任
平成26年3月 2日(日)	上士幌支部臨時総会、支部指導	笹村理事、竹内局長
平成26年3月 7日(日)	長万部支部総会、支部指導	加藤理事長、竹内局長

(3) 地区別懇談会、公益法人移行に伴う説明会の開催

新公益法人制度への移行についての説明、「アイヌ文化振興法」の活用や協会活動などへの理解と参加促進、支部活動の活性化と支部組織の強化を図るため地区別懇談会、説明会を開催した。

地 区	日 程	場 所	内 容
十勝地区	H25年 7月21日	帯広市	公益法人への移行について、他
胆振地区	H25年 7月 3日	白老町	公益法人への移行について、他
日高地区	H25年12月 1日	浦河町	アイヌ政策推進会議等の状況について 公益法人への移行について 他
網走地区	H25年12月12日	美幌町 網走市	公益法人への移行について、他
釧路地区	H25年11月 8日	白糠町	公益法人への移行について、他

(4) 各種相談員合同研修会の実施

相談現場の対応に即した実務相談を中心に研修を行った。

◆合同研修会

期 日：平成25年6月20日（木）、21日（金）

場 所：かでの2・7

参加人員：45名（生活・職業・教育各相談員、経営改善普及指導員他）

内 容：講 演

「アイヌ・先住民研究センターの活動と国におけるアイヌ政策の現況」

講師 北海道大学アイヌ・先住民研究センター長 常本照樹 氏

実務研修

「アイヌ関連施策及びアイヌ協会事業関係について」

グループ討議・意見交換

◆アイヌ関係各種相談員特別研修会

期 日：平成26年3月22日（土）、23日（日）

場 所：日高青少年自然の家

参加人員：12名（生活・職業・教育各相談員）

内 容：講 演 「ウレシパプロジェクトについて」

講師：札幌大学副学長、教授 本田優子 氏

活動紹介発表

グループ討議

全体討議

レクリエーション、他

(5) 生活館活動の充実

生活館活動については、各支部独自の活動実施にとどまった。

生活館運営費の関係市町における開示については、関係支部との連絡調整を図った。

(6) 市町村への働きかけ

市町村が行っているアイヌ関連施策や支部運営の必要な支援などについて働きかけた。
また、新公益法人制度移行後（平成26年4月1日以降）も、引き続き団体会員（旧支部）活動に理解と支援をお願いした。

(7) 財政基盤の強化

アイヌ施策に必要な予算確保について努めてきたが、国・道の財政状況が厳しいことから、結果として現状を維持することにとどまった。

同時に協会の予算編成が財政上立ちゆかない危機的状態であるため、継続して効率的な運営につとめた。

3 会務の運営

(1) 定例総会・代議員会の開催

7支部12個人に表彰状、感謝状を贈呈した。

次の日程・議案により平成25年度総会・代議員会を開催した。

- 期 日 平成25年5月17日（金）
場 所 札幌市、かでの2・7ビル 1階ホール
議 案 ① 平成24年度事業実績報告について
② 平成24年度収支決算報告について
③ 平成25年度事業計画（案）について
④ 平成25年度収支予算（案）について
⑤ 定款の変更について
⑥ 役員候補選について

(2) 臨時総会の開催

- 期 日 平成25年9月28日（土）
場 所 札幌市、北海道クリスチャンセンター 2階ホール
議 案 定款の一部変更について

(3) 理事会などの運営

回	数	開 催 日	場 所
第 1 回		平成25年 4月23日（火）	札 幌 市
第 2 回		平成25年 7月30日（火）	札 幌 市
第 3 回		平成25年 9月28日（土）	札 幌 市
第 4 回		平成26年 1月27日（月）	札 幌 市
第 5 回		平成26年 3月15日（土）	札 幌 市

(4) 各部会及び特別委員会の開催

協会事業の効果的な推進を図るため担当する部会等を開催し、その実効を期した。

部会・委員会名	開催日	場所
総務部会	平成25年 6月27日(木)	札幌市
教育文化部会	平成25年12月 3日(火)	札幌市
青年女性部会	平成25年12月 3日(火)	札幌市
農林漁業部会	平成25年12月17日(火)	札幌市
商工労働部会	平成25年 8月23日(金)	札幌市

(5) 監査の実施

平成25年度執行部の業務や一般会計、特別会計の適正執行に努め、監事監査とともに公認会計士による監査を実施した。

- ・監事会計監査：平成25年12月19日、平成26年4月22日
- ・公認会計士監査：平成26年 4月22日

(6) 組織の在り方検討について

公益法人法移行については、今後の協会組織体制のより良い在り方を、財政基盤の確保、組織統制のあり方、合意形成の手法、円滑運営などの観点から適切な補強策を検討し、道などとの協議を経て認定申請を行った。

(7) 会員資格審査について

平成24年度第2回理事会で総務部会に付託された、会員資格審査を行う認定委員会を開催した。

- ・「会員資格審査認定委員会」 平成25年7月30日

4 北海道大学アイヌ納骨堂におけるイチャルパの実施

北海道大学医学部に研究の対象として保管されていた「※1,014体」の遺骨に対し、鎮魂の意を表し「第30回イチャルパ」を行なった。※北大調査報告書(2013.3.21)

日時：平成25年8月2日(金) 11:00～13:30

場所：北海道大学医学部敷地内「アイヌ納骨堂」

参加人員：約160人

その他：昭和63年8月4日に北海道大学医学部から受領した2,100万円のイチャルパ基金の運用益、アイヌ文化財団の助成事業を活用して実施した。

5 札幌医科大学所蔵アイヌ人骨・遺跡出土人骨に関する対応について

札幌医科大学に保管されているアイヌ人骨と先史時代の縄文人骨などの古人骨のイチャルパを行った。

日時：平成25年10月2日(水) 13:00～15:20

場所：札幌市中央区南1条西18丁目

札幌医科大学構内軽グラウンド

参加人員：約60人

その他：イチャルパ終了後、日本人類学会による学術講演会が開催された。

2 青年・女性対策の推進

1 青年・女性の集い

青年女性の集いは、2日にわたる日程により講演、活動発表、分科会など実り多い集いを実施した。

また、「アイヌ関係各種相談員研修会」も併催し、各種相談員にも参加を呼びかけ、効果的に事業を取り行った。

日 時：平成26年3月22日（土）14：00～17：30
3月23日（日） 9：30～12：00

場 所：日高町 国立日高青少年自然の家

対 象：女性会員及び青年、他

参 加：67名

内 容：講 演 「ウレシパプロジェクトについて」

講師：札幌大学副学長、教授 本田優子 氏

活動紹介発表

グループ討議

全 体 討 議

レクリエーション、他

3 広報・啓発活動の推進

1 機関紙「先駆者の集い」を3回発行した。

2 アイヌ民族の歴史・文化・現況等及びアイヌ文化振興法について解説した「アイヌ民族の概説―北海道アイヌ協会活動を含め―」により周知を図った。

3 アイヌ協会ホームページに協会活動やアイヌ民族関連の情報を適宜紹介した。

4 マスコミや関係機関と連携を図り、「国連宣言」の内容、第2次「国際先住民の10年」関連事業の実施などについての周知に努めた。

5 北海道の人権啓発DVD、啓発誌『アイヌ民族を理解するために』をはじめ、パネル、アイヌ無形文化伝承保存会（平成19年度末で解散）作成ビデオの貸出しなど各種資料を有効に活用し広報啓発活動を行った。

6 道立アイヌ総合センターにおける啓発、研修、情報提供などの活動を行った。

7 道民活動センターの広報誌「広報かでのる2・7」に協会事業を掲載した。

4 先住民族の理解の推進

「国連宣言」、第2次「国際先住民の10年(2005～14年)」の趣旨を周知するとともに、先住民族であるアイヌ民族への理解を求める事業を展開した。

1 「2013国際先住民の日記念事業」の実施

事業内容：記念講演及び伝統文化公演

開催日：平成25年8月3日(土)

会場：千歳市民文化センター

内容：①教育実践報告

「末広小学校アイヌ文化学習の実践について」

千歳市立末広小学校教諭 杉森卓也

②文化財研究報告

「文化財からみるアイヌ文化―時・空を意識して―」

千歳市教育委員会埋蔵文化財センター長 高橋 理

③人権啓発講演

「国連先住民権利宣言と日本のアイヌ政策―人権の視点からの考察―」

(公財)人権教育啓発推進センター理事長 横田洋三

④内閣官房アイヌ総合政策室からの広報

「イランカラプテキャンペーン」について

内閣官房参事官補佐 前川正彦

③アイヌ古式舞踊公演

・千歳アイヌ文化伝承保存会

2 国連関係機関等への働きかけ

(1) 先住民族との連携

先住民族が主体となって開かれる各種国際会議について、NGOや個人参加者から会議の審議内容等を入手した。

(2) 国内NGOとの連携

国連への諮問資格をもつ反差別国際運動、市民外交センターなどとの連携を深め、先住民族の認知や人権環境の改善のために効果的な活動を進めた。

3 アイヌ民族の先住域の法的位置づけについて

アイヌ民族の先住域である千島、樺太、北海道などの歴史的な実証資料や図書資料の収集を進め、国内外での歴史的経緯の認知を広める方途などについて引き続き検討を積み上げていく。

また、「北方領土」に関する行政や機関等との接触を図り、返還推進運動についての基本的な姿勢を伝えた。協会活動に関する理解、アイヌ史の正当な位置づけを求めるため、日本考古学協会、日本文化人類学会、日本人類学会などの各種学会や北海道大学「アイヌ・先住民研究センター」へ働きかけ、「アイヌ学」や「アイヌ史」の構築に向けて、協力、連携しながら取組みを進めた。

同時に「日本学術会議」からの提言、「新しい高校地理・歴史科教育の創造」に即し、内閣官房をはじめ、文部科学省、文化庁の担当者など関係機関等に協力を要請した。

5 民族文化対策の推進

1 アイヌ文化の振興

(1) アイヌ民俗文化財伝承・活用業務（北海道教育委員会委託事業）

下記の通り講座を実施し、アイヌ民俗文化財への理解促進や技術習得に努めた。

①アイヌ民俗技術伝承講座

木彫、刺繍、織物等の伝承講座を以下の会場にて実施した。

登別市、苫小牧市、白老町、むかわ町、新ひだか町（静内・三石）、浦河町
様似町、帯広市

②アイヌ民俗芸能伝承講座

アイヌ古式舞踊、歌唱等の伝承講座を以下の会場にて実施した。

苫小牧市、白老町、むかわ町、新ひだか町（静内・三石）、浦河町、様似町
帯広市

③アイヌ民俗文化財総合伝承講座

アイヌ民俗文化財概論、技術、芸能についての研修及び伝承について研究協議を行った。

開催日程 平成26年 1月18日（土）、19日（日）

会場 かでる2・7ビル（札幌市）

参加対象者 各講座の准講師及びそれに準ずる者

参加者数 11名

④アイヌ民俗技術・芸能伝承講座発表展示

技術講座、芸能講座での成果を発表、公開する場を設け、伝承活動への意欲の向上を図るとともに多くの方に関心を持っていただいた。

開催日程 平成26年 3月 9日（日）

会場 むかわ温泉四季の館たんぽぽホール（むかわ町）

内容 技術講座で製作した作品展示
芸能講座で習得した内容の発表

来場者 80名

(2) アイヌ民族文化祭2013

国際先住民の10年の周知・啓発と民族文化の伝承と発展を図るため、アイヌ民族文化祭2013を開催した。

◆開催日時：平成25年11月17日（日）13：00～15：30

◆開催場所：函館市亀田福祉センター

◆入場者数：160人

◆内容：アイヌ文化講演「ウレシパの心」

札幌大学副学長・教授 本田優子

特別ゲスト公演「口琴演奏」

タパニヴァリス（フィンランド）／エルッキ・ヨウツェノ（フィンランド）

アイヌ文化公演「アイヌ古式舞踊の公演」

（観客向け：ムックリ演奏・アイヌ古式舞踊指導）

アイヌ民族博物館

(3) 芸能交流会の開催

第36回芸能交流会を、次のとおり開催した。

場 所：新ひだか町真歌公園

期 日：平成25年9月23日(金)

参 加：浦河アイヌ文化保存会／阿寒アイヌ民族文化保存会／白糠アイヌ文化保存会
帯広カムイトウウポポ保存会／札幌ウポポ保存会／白老民族芸能保存会
苫小牧アイヌ文化保存会／えりも支部古式舞踊部会／三石民族文化保存会
様似民族文化保存会／鶴川アイヌ文化伝承保存会／平取アイヌ文化保存会
新冠民族文化保存会／静内民族文化保存会

(4) 教科書等のアイヌ民族に関する調査研究

アイヌ文化振興財団が発行した「アイヌ文化に関する指導資料」及び副読本「アイヌ民族：歴史と現在（改訂版）」の内容充実、有効活用への支援・協力を進めた。

千歳末広小学校などの実践に学び、小・中・高校における総合的学習などでアイヌ民族に対する正しい理解促進が図られるよう努める。千歳末広小学校の実践についてDVDに報告内容を収集した。

小中・高等学校で使用されている教科書のアイヌ民族に関する記述内容の掌握に努めた。

(5) 図書・刊行物等の過誤対応

図書、各種出版物や観光資料などの記述に過誤があった場合は、速やかに改善を求めていくとともに、観光バスガイドテキストの有効活用、北海道観光振興機構に設置された「アイヌ文化部会」など関係機関と連携、協力しながら正確な知識の普及に努めた。

(6) 「記念事業等のあり方」対応

市町村の「記念事業等」について、事業名や実施内容に不適切な事例報告を受けなかったが、継続して情報の収集に努めた。

2 アイヌ文化財団の事業推進

アイヌ文化財団の各助成事業について、事業内容の周知を図るとともに、会計上の事故がないよう財団助成事業の実施に係る改善策にそって指導を進めた。

各支部の助成申請内容の掌握のため、申請書の「写し」等の提出を求めた。

3 伝統的生活空間の再生などの働きかけ

アイヌ民族の立場からイオルのあり方を検討するため、引き続き「イオル推進委員会」（協会設置）を開催した。

・平成26年3月24日（月）11:00～12:00 札幌市（かでの2・7）

4 アイヌ文化保存対策の推進

(1) アイヌ文化の振興を目的とした各種団体の事業に対し協力、支援した。

◆ 北海道アイヌ古式舞踊連合保存会

国の重要無形民俗文化財の保護・構成団体である17保存会の活動が活性化し、かつ、各保存会の連絡調整が図られるよう支援した。

◆ (一財) アイヌ民族博物館

文化財関係等の資料交換をはじめ、常に連携を密にしながら相互の事業が円滑に推進されるよう協力した。

(2) アイヌ民俗文化財調査、伝承等の業務受託（委託元北海道教育委員会）

調査業務の金成マツノート翻訳出版、民俗文化財〈技術〉調査の継続実施と、アイヌ文化の伝承を効果的に促進するため、各地域で実施する「アイヌ民俗文化財伝承・活用業務」の受託を、道教委とも連携しながら、さらに充実した事業の展開を図った。

(3) アイヌ総合センターの施設機能を有効に活用し、文化伝承活動の充実に努めた。

特に、文化伝承のための各種講習会を計画的に開催し、会員はもとより一般の方々にも参加を呼びかけた。

アイヌ総合センター指定管理者として3回目の公募申請（平成26年度～29年度）を行った。

今後も資料展示室、保存実習室、図書情報資料室など、施設機能の有効活用、展示整備に努め、文化伝承活動の充実や多くの人の利用増進を図る。

1 情報提供事業

・ 情報資料等の提供

各種DVDにより情報提供を行った。

・ 照会などに応じ文献等の提供を行った。

図書の貸出・閲覧

・ 展示室見学者 9, 362名

2 図書情報資料等の整備

研究及び新聞・雑誌スクラップの整備

3 学習事業（次ページに掲載）

平成25年度アイヌ総合センター学習事業実績

講習名	日程	講師名	延べ人数
アイヌ刺しゅう入門講習会Ⅰ	H25年 5月20日	津田命子／宮田初枝	18
	5月23日		18
	5月27日		18
	5月30日		18
アイヌ刺しゅう入門講習会Ⅱ	H25年 6月14日	津田命子／宮田初枝	17
	6月17日		17
	6月21日		17
	6月24日		17
アイヌ刺しゅう中級講習会Ⅰ (小さなモウル)	H26年 7月19日	津田命子／宮田初枝	17
	7月22日		17
	7月26日		17
	7月29日		17
アイヌ刺しゅう中級講習会Ⅱ (小さなチヂリ)	H26年 8月23日	津田命子／宮田初枝	16
	8月26日		16
	8月30日		16
	9月 2日		16
	9月 6日		16
	9月 9日		16
アイヌ刺しゅう中級講習会Ⅲ (小さなカパラミプ)	H26年11月 8日	津田命子／宮田初枝	15
	11日		15
	15日		15
	18日		15
	22日		15
	25日		15
合 計			394

(4) 道立アイヌ民族文化研究センターとも連携を密にし、それぞれの事業の推進に協力した。

6 生活・教育対策の推進

- 1 大学入学一時資金貸付事業 【道環境生活部～アイヌ協会～対象者】
貸付限度額30万円以内で、2件(550,000円)の貸付を行った。
- 2 専修学校入学一時資金貸付事業 【道環境生活部～アイヌ協会～対象者】
貸付限度額30万円以内で、9件(2,409,000円)の貸付を行った。
- 3 私立高校入学一時資金貸付事業 【道環境生活部～アイヌ協会～対象者】
貸付限度額20万円以内で、1件(200,000円)の貸付を行った。
- 4 福祉資金貸付事業 【アイヌ協会～対象者】
1件10万円以内で、46件(4,600,000円)が活用した。
- 5 環境整備資金貸付事業 道環境生活部～アイヌ協会～対象者】
 - (1) 浴室整備資金
貸付限度額20万円以内で、貸付の実績なし。
 - (2) 墓碑整備資金
貸付限度額30万円以内で、1件(300,000円)の貸付を行った。

7 農林漁業対策の推進

北海道農政部と密接な連携を図り、アイヌ農林漁業対策事業の積極的な活用を図った。

8 中小企業対策の推進

アイヌ中小企業振興対策事業の実施に当たっては「改善策」に基づき実施した。

1 アイヌ民芸品展示会事業

アイヌ民芸品のPRを販路の拡大を目的に展示会を実施した。

各展示会場において、製作実演や刺しゅうの無料体験コーナーを設置した。

開催地	場 所	期 間	体験講師／実演者
千歳市	新千歳空港 ターミナルビル 2階	平成25年 10月11日(金) ～ 14日(月)	体験講師 2人 ①長縄由加利(エルズ) ②貝澤竹子(アートサッポロ) 実演展示 3人 ①藤原スエ子(カイザー) ②荒木 繁(あらき木彫製作所) ③石井美香(アートウケシコロ) 古式舞踊の公演 平取アイヌ文化保存会
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	平成26年 2月14日(金) ～ 17日(月)	体験講師 2人 ①長縄由加利(エルズ) ②藤原スエ子(カイザー) 実演展示 3人 ①貝澤 徹(北の工房つとむ) ②荒木 繁(あらき木彫製作所) ③山田祐治(やまだ民藝社) 古式舞踊の公演 阿寒アイヌ民族文化保存会 白老民族芸能保存会
東京都	東京タワー	平成25年 11月 7日(木) ～ 11日(月)	体験講師 1人 ①間宮喜代子 実演展示 2人 ①吉田信男(木ぼりの吉田民芸) ②荒木 繁(あらき木彫製作所)
福岡県	福岡空港ターミ ナルビル 2階	平成26年 1月16日(木) ～ 20日(月)	体験講師 1人 ①貝澤竹子(アートサッポロ) 実演展示 2人 ①貝澤幸司(つとむ民芸店) ②間宮喜代子

2 アイヌ工芸者技術研修事業

<道外研修>

国立民族学博物館に外来研究員としての受け入れを依頼し、アイヌ工芸者の技術向上とアイデアの開発、さらにはアイヌ工芸品の振興発展を目的に研修を行った。

また、天理大学附属天理参考館の収蔵資料の熟覧などを実施し、デザインの開発、製作技術について研修を深めた。

- ・研修期間：平成26年2月13日～2月26日（14日間）
先進地視察 2月26日～28日（井波彫刻／一位一刀彫り）
- ・参加者：早坂ユカ（札幌）／岡田育子（白老）
- ・報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

<道内研修>

アイヌ工芸者の技術向上と経営手法を習得するため、熟練工芸作家による技術指導と経営や販売促進に関する研修を実施した。

- ・研修期間：平成25年12月～平成26年3月
- ・講師：①技術指導 優秀工芸師 浦川太八
②経営セミナー 中小企業診断士 後藤直樹
- ・参加者：廣川昌嘉（帯広）
- ・報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

3 民工芸品販路拡大事業

新千歳空港国内線ターミナルビル2階「耕人舎北海道本舗民芸品」において委託販売を行った。

(1) 耕人舎「北海道本舗民芸品」委託販売

場 所：新千歳空港2階

内 容：アイヌ民工芸品の委託販売

事業者：荒木 繁／あらき熊木彫製作所

吉田信男／吉田民芸

山田祐治／やまだ民芸社

石井美香／アートウケシコロ

八重清敏／モセッチリ民芸

貝澤幸司／つとむ民芸

貝澤 徹／北の工房つとむ

伊藤夕美／アートポンポロ

浦川太八／ホロベツ民芸

秋辺日出男／デボの店

貝澤文俊／カイザー

4 インターネット活用について

アイヌ協会のホームページにて、アイヌ工芸品の情報提供に取り組んだ。

5 第47回北海道アイヌ伝統工芸展

第47回北海道アイヌ伝統工芸展を次のとおり実施した。

また、優秀工芸師による作品展示と実演コーナーを併設した。

期 間 平成26年2月8日(土)～12日(水)

場 所 かでる2・7 1階展示ホール

参加支部数 13支部(34名)

出品数及び 伝統工芸品の部 32点 一般工芸品の部 48点 計80点

審査委員 北海道文学館学芸員 浅川 泰

北海道立総合研究機構 工業試験場製品技術部 万城目 聡

(敬称略) 北海道開拓記念館事業部長 出利葉 浩司

北海道テキスタイル協会会長 戸坂 恵美子

ヤイユーカーの森 代表 計 良 智子

北海道アイヌ協会優秀工芸師 加藤 町子

北海道アイヌ協会優秀工芸師 浦川 太八

表彰式 平成26年2月12日(水) 13:00～13:30

受賞者一覧

	伝 統 工 芸 品 部 門			一 般 工 芸 品 部 門		
	作 品 名	支 部 等	氏 名	作 品 名	支 部 等	氏 名
最優秀賞 (※1)	アットウシ アミプ (樹皮衣)	平 取	藤谷るみ子	テーブル センター	白 老	吉国幸子
優秀賞 (※2)				ペンダント (額入り)	札 幌	早坂ユカ
優秀賞 (※3)	ルウンペ (木綿衣)	白 老	岡田育子			
優秀賞 (※4)	着物	札 幌	早坂ユカ	のれん	平 取	貝澤美雪
奨励賞	カパラミプ (木綿衣)	白 老	山崎シマ子	ペンダント	釧 路	伊藤夕美
同	マタンブシ (鉢巻き)	白 糠	内山藤子	エプロン	様 似	熊谷カネ
同	チンヂリ (木綿衣)	様 似	熊谷カネ	はんでん (カパラミプ)	平 取	尾崎友香
同	チンヂリ (木綿衣)	札 幌	長縄由加利	サラニブ (背負い袋)	札 幌	杉村 忍
同	イタ (盆)	平 取	藤谷 誠	メガネケース	阿 寒	小林慶子

※1 最優秀賞 (北海道知事)

※2 優秀賞 (北海道議会議長)

※3 優秀賞 (北海道教育委員会教育長)

※4 優秀賞 (かでる賞)

6 アイヌ協会優秀工芸師秀作展示交流会

アイヌ協会優秀工芸師の作品展示と実演の交流を行った。

期 間 平成26年2月8日(土)～11日(火)

場 所 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 1階展示ホール

参 加 者 加藤町子(札幌)／荒木 繁(札幌)／石井美香(札幌)
貝澤幸司(平取)／貝澤かつえ(平取)／間宮喜代子(石狩)

7 伝統的工芸品産業振興協会事業への参加

(1) 平成25年度全国伝統的工芸品公募展

上記公募展の出品について、アイヌ協会優秀工芸師に応募を呼びかけた。

8 原木の払い下げ実績

原木の払下げ実績は次のとおりである。

(国有林単位：m³)

作業所等の名称 代 表 者 名	平成25年希望量		平成25年度実績量	
	樹 木 名	数 量	樹 木 名	数 量
作業所名 ホロベツ民芸 代表者名 浦川 太八	エンジュ カツラ セン イタヤ コブ材	10.00m ³	実績なし	
作業所名 奥山民芸品店 代表者名 奥山 幸男	闊葉木樹各種	10.00m ³	実績なし	
作業所名 北海道アイヌ協会千歳支部 代表者名 支部長 中村吉雄	カツラ又は バッコヤナギ	直径80cm 長さ 8m 直径40cm 長さ 4m	実績なし	
作業所名 木彫り民芸「森の人」 代表者名 渡辺澄夫	シナ エンジュ エリマキ		実績なし	

9 職業安定対策の推進

1 就職支度資金給付事業(中学卒業者)【アイヌ協会～対象者】

給付実績(申請)が無かった。

2 技術習得資金給付事業【アイヌ協会～対象者】

1人50,000円以内で、20人に支給した。

3 雇用推進員活動実績

雇用推進員を15名が配置し、当該業務に従事した。平成25年度活動実績は次のとおり。

項目		月 別												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 活動日数		44	41	44	43	42	42	43	44	43	44	44	44	518
2. 相談 件数	1) 求職者相談件数	83	64	76	69	93	68	84	79	68	90	74	68	916
	有効求職者	65	56	58	58	59	53	55	55	55	74	62	51	701
	新規学卒者	1	0	0	0	0	0	1	1	4	5	5	5	22
	その他	17	8	18	11	34	15	28	23	9	11	7	12	193
	2) 事業所相談件数	3	1	1	0	3	1	2	0	3	5	0	0	19
	一般求人	3	1	1	0	3	1	1	0	2	4	0	0	16
	新規学卒者	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 安定所に取 次いだ件数	求職取次	28	13	12	9	12	13	14	12	14	13	17	17	174
	求人取次	1	1	0	0	3	4	0	0	1	2	0	0	12
4. 職場適応指導件数		4	0	4	3	2	4	4	6	2	2	2	8	41
5. 安定所に取次いだ求人 情報のうち求人受理件数 (求人数)		3	4	3	4	7	3	3	5	3	6	5	5	51
		3	5	3	4	8	7	3	5	6	7	5	5	61
6. 就職に至った件数		17	9	10	7	10	11	9	13	12	7	10	13	128

資料編

アイヌ施策関連事業

平成25年度アイヌ施策関連事業

<修学奨励、教育事業関係>

1 高等学校等進学奨励事業【道（局）～対象者】

区 分	高校・大学別	人 数	上 限 額
入学支度金	高 校（給付）	136人	23,100円
	大 学（貸付）	29人	36,750円
修学資金	高 校 （給付）	国公立	350人 月）23,000円
		私 立	75人 月）43,000円
	大 学 （貸付）	国公立	20人 月）51,000円
		私 立	117人 月）82,000円

2 専修学校等進学奨励費補助事業【道（局）～対象者】

区 分	人 数	上 限 額
入学支度金	34人	23,100円
修学資金	82人	（月）23,000円

3 高等学校通学費補助事業【道（局）～対象者】

補助対象高等学校の通学に要する経費

72人に1,666,888円が助成された。

4 教育相談員の配置

北海道費で1名（望月典子）、札幌市単費で1名（光野智子）

帯広市単費で1名（笹村昭義）が配置され教育相談業務が行なわれた。

<地方改善事業関係>

(1) 施設整備事業の実績

(単位：円)

No.	市町村	地 区	種 別	規模等	事業費	国庫補助額
1	白老町	社台	地区道路	改良	27,951,000	13,849,000
2	平取町	小平	生活館	大規模修繕	11,445,000	4,500,000
3	平取町	荷負	生活館	大規模修繕	6,478,500	3,000,000

(2) 生活館運営費・生活館活動推進事業の実績

(生活館運営費補助金一覧) N o 1

(単位：円)

市町村	館数	区分	総事業費	補助金額	うち国庫負担相当額	うち道費負担相当額
			A	B	(B×2/3) C	(B-C) D
千歳市	1	運営費	4,020,197	2,742,000	1,828,000	914,000
		活動	161,680	121,000	80,000	41,000
		小計	4,181,877	2,863,000	1,908,000	955,000
八雲町	1	運営費	3,112,859	1,974,000	1,316,000	658,000
		小計	3,112,859	1,974,000	1,316,000	658,000
室蘭市	1	運営費	3,224,954	2,059,000	1,372,000	687,000
		小計	3,224,954	2,059,000	1,372,000	687,000
苫小牧市	1	運営費	7,559,914	2,757,000	1,838,000	919,000
		活動	334,992	251,000	167,000	84,000
		小計	7,894,906	3,008,000	2,005,000	1,003,000
伊達市	1	運営費	2,804,173	1,913,000	1,275,000	638,000
		活動	40,849	30,000	20,000	10,000
		小計	2,845,022	1,943,000	1,295,000	648,000
豊浦町	1	運営費	2,031,682	876,000	584,000	292,000
		小計	2,031,682	876,000	584,000	292,000
白老町	8	活動	11,691,448	7,965,000	5,310,000	2,655,000
		小計	115,297	86,000	57,000	29,000
		小計	11,806,745	8,051,000	5,367,000	2,684,000
洞爺湖町	1	運営費	253,016	188,000	125,000	63,000
		小計	253,016	188,000	125,000	63,000
むかわ町	11	運営費	11,339,169	7,780,000	5,186,000	2,594,000
		活動	88,754	66,000	44,000	22,000
		小計	11,427,923	7,846,000	5,230,000	2,616,000
日高町	16	運営費	21,857,910	15,180,000	10,120,000	5,060,000
		小計	21,857,910	15,180,000	10,120,000	5,060,000
平取町	13	運営費	17,306,319	10,784,000	7,189,000	3,595,000
		活動	114,000	75,000	50,000	25,000
		小計	17,420,319	10,859,000	7,239,000	3,620,000
新冠町	9	運営費	7,340,541	4,596,000	3,064,000	1,532,000
		小計	7,340,541	4,596,000	3,064,000	1,532,000
浦河町	14	運営費	13,983,879	9,594,000	6,396,000	3,198,000
		活動	303,905	215,000	143,000	72,000
		小計	14,287,784	9,809,000	6,539,000	3,270,000
様似町	9	運営費	14,859,757	9,599,000	6,399,000	3,200,000
		活動	160,390	120,000	80,000	40,000
		小計	15,020,147	9,719,000	6,479,000	3,240,000

次頁に続く

(生活館運営費補助金一覧) No.2

(単位:円)

市町村	館数	区分	総事業費	補助金額	うち国庫負担相当額	うち道費負担相当額
			A	B	(B×2/3) C	(B-C) D
えりも町	7	運営費	5,865,530	4,103,000	2,735,000	1,368,000
		活動	0	0	0	0
		小計	5,865,530	4,103,000	2,735,000	1,368,000
新ひだか町	31	運営費	15,736,058	10,930,000	7,286,000	3,644,000
		活動	405,000	270,000	180,000	90,000
		小計	16,141,058	11,200,000	7,466,000	3,734,000
帯広市	1	運営費	8,687,460	2,757,000	1,838,000	919,000
		小計	8,687,460	2,757,000	1,838,000	919,000
幕別町	1	運営費	2,759,887	876,000	584,000	292,000
		小計	2,759,887	876,000	584,000	292,000
本別町	2	運営費	1,634,136	1,197,000	798,000	399,000
		小計	1,634,136	1,197,000	798,000	399,000
浦幌町	1	運営費	1,954,512	876,000	584,000	292,000
		小計	1,954,512	876,000	584,000	292,000
釧路市	6	運営費	10,334,932	7,137,000	4,758,000	2,379,000
		小計	10,334,932	7,137,000	4,758,000	2,379,000
厚岸町	1	運営費	314,734	203,000	135,000	68,000
		小計	314,734	203,000	135,000	68,000
弟子屈町	1	運営費	501,398	371,000	247,000	124,000
		小計	501,398	371,000	247,000	124,000
白糠町	1	運営費	4,259,072	2,757,000	1,838,000	919,000
		小計	4,259,072	2,757,000	1,838,000	919,000
標津町	4	運営費	3,435,216	2,368,000	1,578,000	790,000
		活動	100,000	75,000	50,000	25,000
		小計	3,535,216	2,443,000	1,628,000	815,000
合計	143	運営費	176,868,753	111,582,000	74,383,000	37,199,000
		活動	1,824,867	1,309,000	871,000	438,000
		合計	178,693,620	112,891,000	75,254,000	37,637,000

※ 補助割合は、国2/4、都道府県1/4（間接分3/4）、市町村1/4です。

市町村	館数	区分	総事業費	補助基本額	国庫負担相当額	市費負担相当額
			A	B	(B×1/2) C	(A-C) D
札幌市	1	運営費	4,754,552	3,676,000	1,838,000	2,916,552
		活動	4,342,979	2,000,000	1,000,000	3,342,979
		小計	9,097,531	5,676,000	2,838,000	6,259,531
旭川市	2	運営費	14,814,958	4,844,000	2,422,000	12,392,958

※ 札幌市の数字は実績額、旭川市は実績(見込み)額

※ 札幌市(指定都市)及び旭川市(中核都市)の補助割合は、1/2です。

※ 注：運営費＝生活館運営費　：　活動＝生活館活動推進事業費

(3) 生活相談員

生活相談員が31名配置され、生活相談業務が行なわれた。

市町村名	氏名	市町村名	氏名
札幌市	佐々木洋子 菊池照子	浦河町	堀悦子 八重樫志仁
千歳市	今泉久美子	様似町	大野徹人 古館牧子
室蘭市	坂下敏子	えりも町	運上英昭 藤井大吾
苫小牧市	脇坂智春	旭川市	工藤 稔
登別市	外崎みずほ	帯広市	吉根とみ子
伊達市	山崎よし子	芽室町	太田千代
白老町	小川康信 高野美和子	浦幌町	山岸律子
むかわ町	佐々木義一 芦谷明美	釧路市	松本里美
平取町	以頭 修 阿部孝之 日川敏恵	白糠町	大谷 明
日高町	野島浩人	標津町	小林一志
新冠町	吉田明美	八雲町	多田光男
新ひだか町 静内庁舎	川上敬大		

<農林漁業対策事業関係>

2 平成25年度アイヌ地区農林漁業対策事業実績

(単位：円)

市町村名	地区名	事業種目	事業主体	事業量	事業費
豊浦町	豊浦	(整備事業) 漁業経営 近代化施設	いぶり噴火湾 漁業協同組合	ホタテ養殖協同作業施設 1棟 557.26㎡	149,992,500
洞爺湖町	洞爺湖町	(整備事業) 漁業経営 近代化施設	いぶり噴火湾 漁業協同組合	漁具洗浄施設・雑物一時堆積場 一式 640㎡ 作業機械配電盤 1式(5基)	56,700,000
新ひだか町	幌毛	(推進事業) 農業経営 近代化施設	幌毛機械利用 組合	サブソイラー 1台 ディスクモア 1台 チョッパー 1台	5,023,200
長万部町	長万部	(推進事業) 漁業経営 近代化施設	長万部漁業協 同組合	ホタテ貝自動耳吊り機 47台	185,950,800
4市町 4地区					397,666,500

<中小企業対策関係>

1 経営改善普及指導員活動実績

中小企業者のニーズに応え、経営改善普及指導員及び地元商工会と連携を図り下記の事業を実施した。

(1) 集団指導

開催日	開催場所	内 容	講 師	人数
平成26年 3月20日 (木)	平取町 平取町 商工会館	「スマートフォンの活用で 販売促進」	富士通 エフ・オー・エム(株) 岩野利恵氏	11
平成26年 3月24日 (月)	白老町 しらおい 経済センター	「無くなるマーケットと 生まれるマーケット」	オフィス後藤経営 中小企業診断士 後藤直樹氏	10

(2) 経営改善普及指導員による個別相談等

区 分	金 融	税 務	経 理	経 営	労 務	取 引	その他	合 計
巡 回	1	3	0	3	2	1	0	10
窓 口	22	7	1	10	1	2	3	46
合 計	23	10	1	13	3	3	3	56

(3) 経営相談日の開設

- ① アイヌ協会事務所で毎週、月・火・金曜日(9:00~17:00)を相談日として開設。
- ② 商工会連合会事務所で毎週、水・木曜日を相談日として開設。

総開設日226日(うち、アイヌ協会事務所での開設日133日を含む)

<労働対策関係>

1 職業相談員活動実績

平成25年度15名が配置され、それぞれの地区において相談活動が行なわれた。

札幌職業安定所 阿部 一
 札幌東職業安定所 山崎良子
 札幌北職業安定所 柴田妙子
 千歳職業安定所 好田敦子
 函館職業安定所 相馬まり子（八雲出張所）
 旭川職業安定所 青野和恵（平成25年11月1日就任）
 室蘭職業安定所 上西静枝、小名幸子（伊達分室）
 釧路職業安定所 伊賀秀子
 帯広職業安定所 木村寿美子
 苫小牧職業安定所 宮尾直子
 浦河職業安定所 中田年枝、柴野仁子
 永田百合子、工藤明美（静内分室）

2 就職資金貸付実績

北海道労働局主管で扱った常用労働者に対する就職資金の平成25年度の利用実績は次のとおり。

区分	単 身		扶養家族（有）		計	
	人数	金 額(円)	人数	金 額(円)	人数	金 額(円)
札幌	2	300,000	1	200,000	3	500,000
札幌東	2	300,000	0	0	2	300,000
帯広	1	150,000	1	200,000	2	350,000
釧路	1	150,000	0	0	1	150,000
浦河	9	1,350,000	0	0	9	1,350,000
苫小牧	9	1,350,000	0	0	9	1,350,000
計	24	3,600,000	2	400,000	26	4,000,000

3 公共職業訓練手当支給実績

次の関係高等技術専門学院等でアイヌ子弟に訓練手当が支給された。

学 院 名	人数	内 訳
札幌高等技術専門学院	2	1年生1名、2年生1名
旭川高等技術専門学院	1	2年生1名
室蘭高等技術専門学院	2	1年生2名（1年制）
苫小牧高等技術専門学院	4	1年生4名（1年制）
釧路高等技術専門学院	1	1年生1名（2年制） 介護福祉士養成科
合 計	10	

4 機動職業訓練

6地区6件の機動職業訓練が行われた。

区 分	学 院 名	訓 練 科 目	実 施 地	職 安	実 施 期 間		訓 練 状 況			備 考
					期 間	月	定員	入校	修了	
道 立	札幌	パソコン基礎科	札幌市	札幌	12/2~2/28	3.0	20	12	10	
	苫 小 牧	OA基礎科	平取町	苫小牧	12/9~2/21	2.5	10	9	9	
		パソコン基礎科	むかわ町	苫小牧	1/8~3/20	2.5	10	9	9	
		情報ビジネス科	苫小牧	苫小牧	1/9~3/24	2.5	10	6	6	
		建築技術科	浦河町	浦河	1/9~3/24	2.5	10	7	7	
		IT基礎科	釧路市	釧路	1/7~3/20	2.5	15	7	7	
計						75	50	48		

<住宅対策関係>

1 住宅改良資金貸付事業

平成25年度住宅改良資金貸付事業の実績

(単位：円)

市町村名	住宅新築資金		住宅改修資金		宅地取得資金		合 計	
	件数	貸付額	件数	貸付額	件数	貸付額	件数	貸付額
苫小牧市			1	3,000,000			1	3,000,000
平取町			1	4,800,000	1	2,380,000	2	7,180,000
別海町			1	4,800,000			1	4,800,000
合計			3	12,600,000	1	2,380,000	4	14,980,000

2 年度別建設実績

資金別 年 度	新 築 件	改 修 件	宅 地 取 得 件	合 計 件
昭和48年度	2	12	—	14
49	9	25	0	34
50	40	25	0	65
51	81	27	1	109
52	112	41	15	168
53	130	48	18	196
54	136	47	33	216
55	129	39	37	205
56	112	46	28	186
57	109	39	44	192
58	94	34	32	160
59	80	38	28	146
60	67	36	21	124
61	70	34	23	127
62	67	46	26	139
63	62	35	16	113
平成元年度	58	30	27	115
2	62	30	21	113
3	52	32	18	102
4	43	32	24	99
5	45	25	18	88
6	20	22	22	64
7	30	24	15	69
8	34	25	8	67
9	15	18	12	45
10	22	16	13	51
11	22	20	11	53
12	17	9	10	36
13	13	17	3	33
14	10	14	8	32
15	5	10	6	21
16	5	10	3	18
17	2	5	1	8
18	8	7	2	17
19	3	7	2	12
20	5	6	3	14
21	6	6	5	17
22	4	2	3	9
23	3	1	1	5
24	0	3	0	3
25	0	3	1	4
合 計	1, 784	946	559	3, 289